


こども家庭庁予算について
Bテーマ事前勉強会

2023.9.20(水)

本日の目次

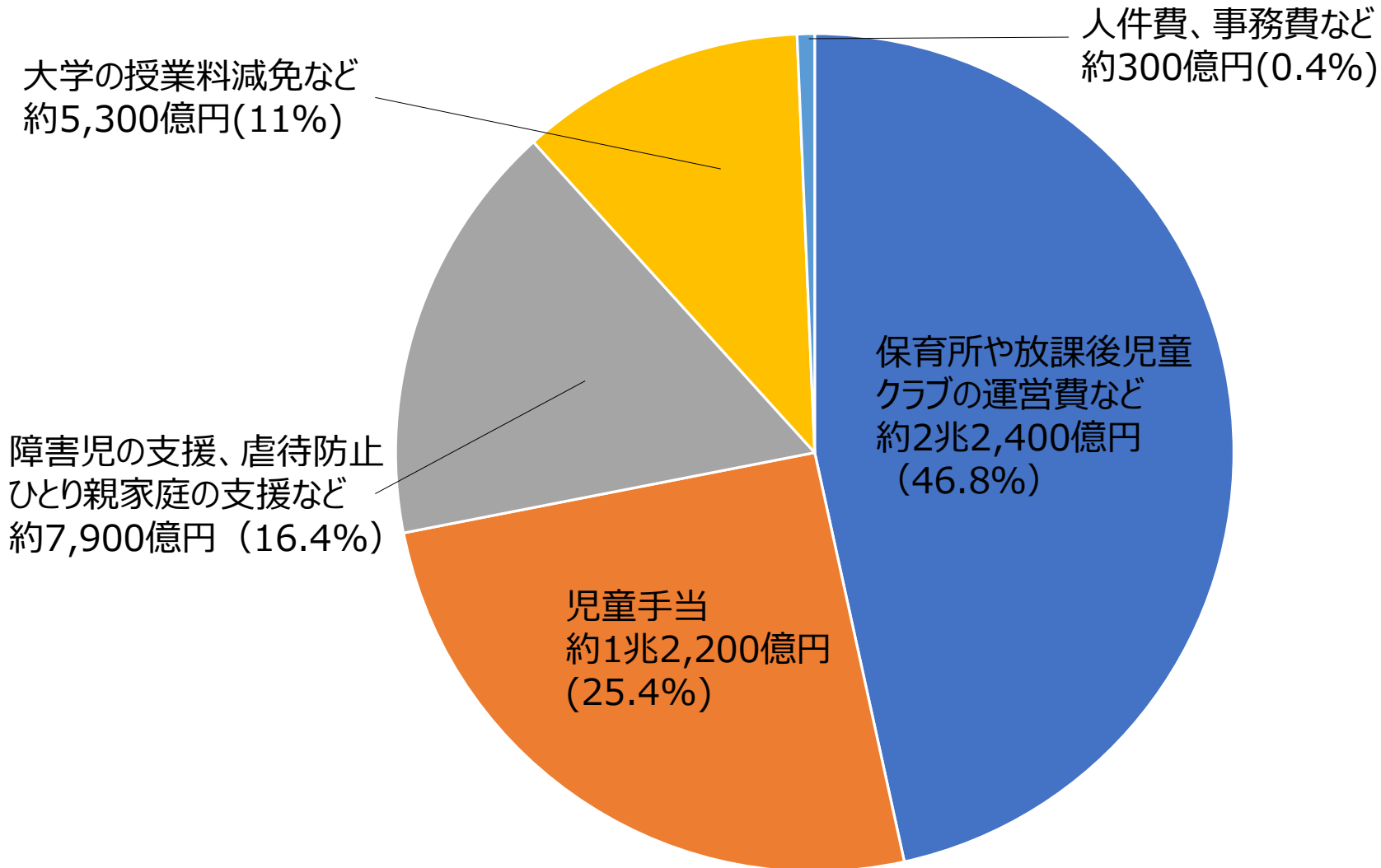
1.	テーマ説明① 概算要求について	03
2.	テーマ説明② こども政策DXについて	13
3.	テーマ説明③ こどもデータ連携について	24
4.	「こども若者★いけんぷらす」とは？	28
5.	今回のいけんひろばについて	29
6.	スケジュール	30
7.	メンバー一覧	31
8.	ルームURL	33
9.	運営関係者一覧	34
10.	いけんひろばでのルール	35

1. テーマ説明①



概算要求について

令和5年度 こども家庭庁当初予算 約4.8兆円



令和5年度 こども家庭庁当初予算 約4.8兆円

・保育所や放課後児童クラブの運営費など

約2.2兆円



・児童手当

約1.2兆円

・障害児の支援、虐待防止、ひとり親家庭の支援など

約0.8兆円

・大学の授業料減免など

約0.5兆円

令和5年度 こども家庭庁当初予算 約4.8兆円

・保育所や放課後児童クラブの運営費など 約2.2兆円

・**児童手当** 約1.2兆円



児童手当

こどもの年齢	児童手当の額
3歳未満	一律 15,000円/月
3歳以上 小学校修了前	10,000円/月 (第3子以降は15,000円/月)
中学生	一律10,000円/月

※子どもを養育している方の所得が所得制限限度額以上、
所得上限限度額未満の場合は、月額5,000円を支給

・障害児の支援、虐待防止、ひとり親家庭の支援など 約0.8兆円

・大学の授業料減免など 約0.5兆円

令和5年度 こども家庭庁当初予算 約4.8兆円

- ・保育所や放課後児童クラブの運営費など 約2.2兆円
- ・児童手当 約1.2兆円
- ・障害児の支援、虐待防止、ひとり親家庭の支援など 約0.8兆円

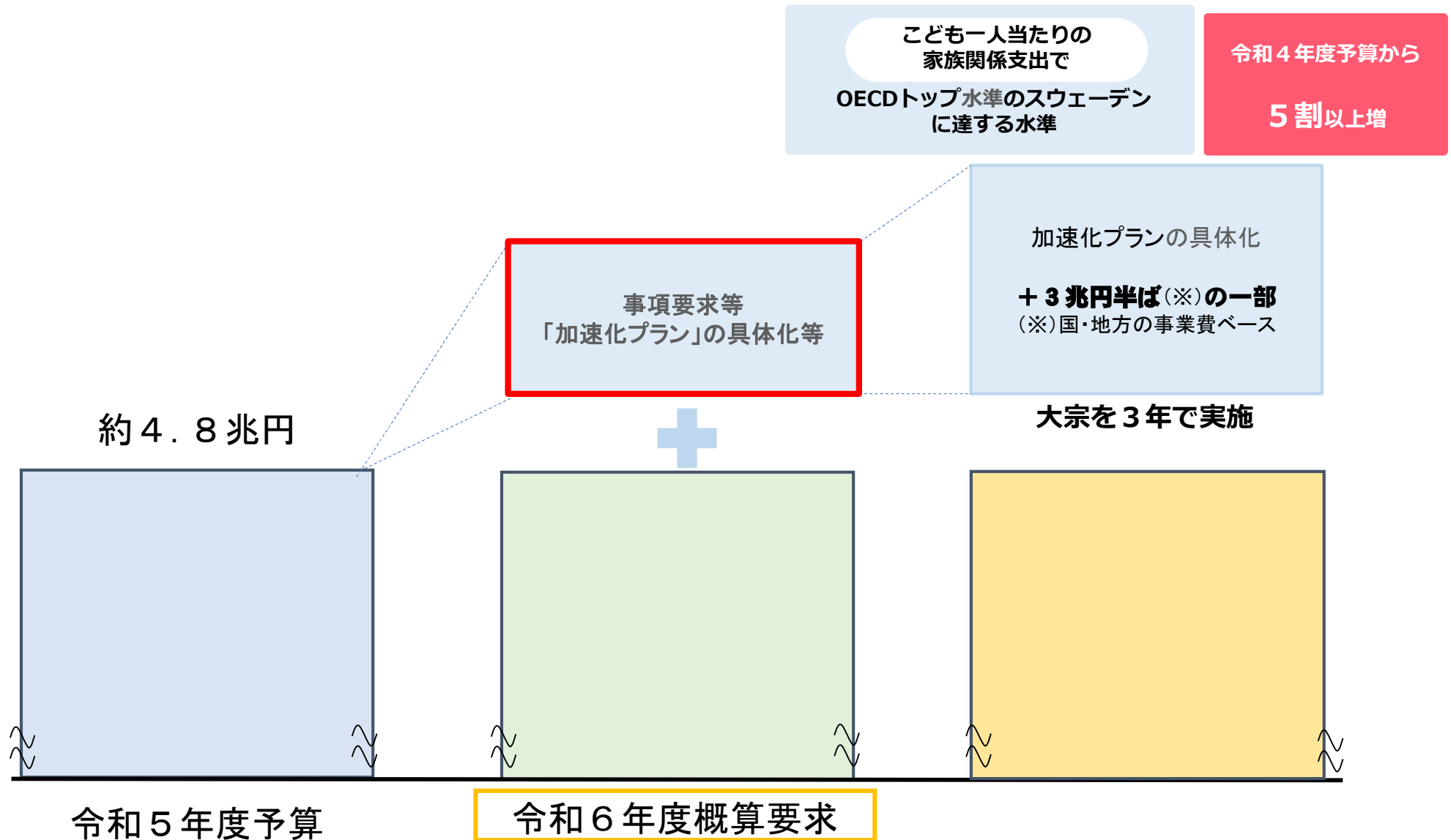


- ・大学の授業料減免など



- 約0.5兆円

令和6年度 こども家庭庁予算概算要求（イメージ）



こども未来戦略 方針MAP

42万円→50万円

出産育児一時金

第三子以降は3万円に増額

家計の応援裏面の③へ

児童手当

育児休業給付率UP

男性取得促進

裏面④へ

公営住宅優先入居
民間住宅ストック活用

住宅支援

不安なことはなんでも相談できる

妊娠
伴走型相談支援スタート
裏面の①へ

出産

産後ケア
裏面の②へ

自営業・フリーランスの育児期間の保険料免除
裏面の③へ

中小企業の育休にインセンティブ

時短給付

住宅支援でひろびろ子育て

伴走型支援と家計の応援は、子育て期をしっかりカバー！

働いていなくても時間単位で通える

放課後児童クラブ拡充

小学校入学

看護休暇

子ども誰でも通園制度
裏面の⑤へ

医療費減等負担軽減

高校生年代まで延長

支援対象拡大

修士段階の学生に導入

中学校入学

児童手当延長

高校入学

授業料等減免
裏面の⑥へ

授業料後払い制度




こども一人当たり子育て支援の規模はOECDトップ水準のスウェーデンに達する水準

テーマの中身

- こどもの居場所づくり支援
- こども食堂支援
- こども政策DX
- こどもデータ連携

みなさんに質問したい内容について

- こども家庭庁予算は、4.8兆円となっていますが、みなさんのために使われている実感はありますか。
- こども家庭庁の予算でやっている事業を知ってもらうために、どのような取り組みが必要だと思いますか。
- こども家庭庁では、今後、こども未来戦略方針に沿って、こども予算の充実に取り組むこととしていますが、こうした方向性についてどう思いますか。



テーマ①概算要求について
質問のじかん

2. テーマ説明②



こども政策DXについて

「こども政策DX」とは？



こども・子育て政策においてデジタル技術を積極的に活用することで、
子育て家庭等の手間や負担を軽減し、
こどもと向き合う時間を増やしていく。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）
進化し続けるテクノロジーが人々の生活を豊かにすること。

**こども政策DXの推進を通じて
こどもまんなか社会の実現を図っていくため**

こども政策DX推進チーム

**を立ち上げ、検討をスタート。
(R4年12月～)**

こども政策DX推進チームの概要

子育てをより楽しく、安心、便利なものとする中で、こどもまんなか社会を実現するためには、第一に、**こどもや子育て家庭が必要な情報に素早く、簡単にアクセスでき、様々な行政手続きをストレスなく行うことができる環境**を整備することが重要である。

また、保育園などの子育て関連事業者や地方自治体など、**こども政策の現場に携わる方々の事務負担を軽減**し、こどもや子育て家庭への支援にかける時間やエネルギーをできるだけ**こども政策の質の向上に振り向けていく**ことも重要である。

このため、「こども政策DX推進チーム」を立ち上げ、DXの推進を通じてこどもまんなか社会の実現を図っていく。

具体的な取り組みの例

①子育て家庭などの負担軽減を目的に

- 全国の子育て家庭等へのアンケートを実施
- 出産、子育てに関する各種手続きのオンライン化の検討

②自治体、子育て関連事業者の負担軽減を目的に

- 地方自治体へのDXへの取り組み状況のアンケートを実施
- 先進的な取り組みをしている自治体間の連携や支援の検討

取り組みの背景 ～ 子育て家庭からいただいた声

1 行政手続に関する声

何をどのタイミングで手続きをどこですべきか最初は分からず戸惑った。

予防接種ではスケジュール管理が難しく、病院とのコミュニケーションが大変だった。

つわりが辛い中、母子健康手帳の手続きのために外出するのが困難だった。

出産後の手続きは期限があるものが多く、産後間もない体の状態で役所に行かなければいけないのが辛かった。

妊婦健診の助成券もすべて手書きなのが大変。

予防接種の提出書類について予防接種の回数や種類も多い中、子どもを抱えながら時間を見つけて全て手書きというのがとても大変だった。携帯などで、記入をして電子化してもらえたら楽になると感じた。

3 子育ての不安や悩みに関する声

離乳食を始めるにあたり食べて良いもの、食べる量は離乳食相談会でよく聞かすが、絶対に食べていけないもの、危険なものも冊子でもらいたい。

ネットで不確かないろんな情報が出て何が正しいかわからない

子育てなどで困ったときに誰に相談して良いか分からなかった。助産師？ 支援センターの方など。とりあえず何でも相談したら振分けしてくれる、コンシェルジュ的な方がいると助かる。

生後3ヶ月くらいまで、理由もなく夕方にギャン泣きする期間が続き、精神的につらかった。

2 子育てサービスに関する声

子育て支援センターについての情報は紙媒体が多かったり個別にホームページを見なければならぬので様々な子育てイベントが一覧になっているホームページを作してほしいです。

子育て支援をやっている場所がわからず、ホームページを見てもいまいち分かりにくい部分があった

切迫早産で入院になった時、上の子を預ける場所を探すのに苦労した。一時預かり可能と書いてある園でもいっぱい難しいと断られることも多かったので、できる限りリアルタイム情報を得られる場所があれば助かったかなとおもう。

市の産後ケア事業を使用したい時に、保健センターまで行って申込書を記入しないと行けなかった。産後ケアを使いたい時は困っていてすぐに使いたいという時なのでもっと簡単にスピーディーに使用したかった。また、費用が高く、負担が大きかった。

4 経済的な支援に関する声

準備するものが多く、またお金もかかるので資金面で困った。産休手当など手当が入るのが遅くて大変だった。

出産前のものを揃えるのに、とてもお金が掛かった。あかちゃんのは高価なため、もう少し手当を厚くしてほしい。あと、手当の振り込みが遅くて家計が苦しかった。産んだらすぐに振り込んでほしい。

将来的に目指していくイメージ 「デジタル技術で、子育てをもっと楽しく・安心・便利に」

1. 大変な行政手続なども…



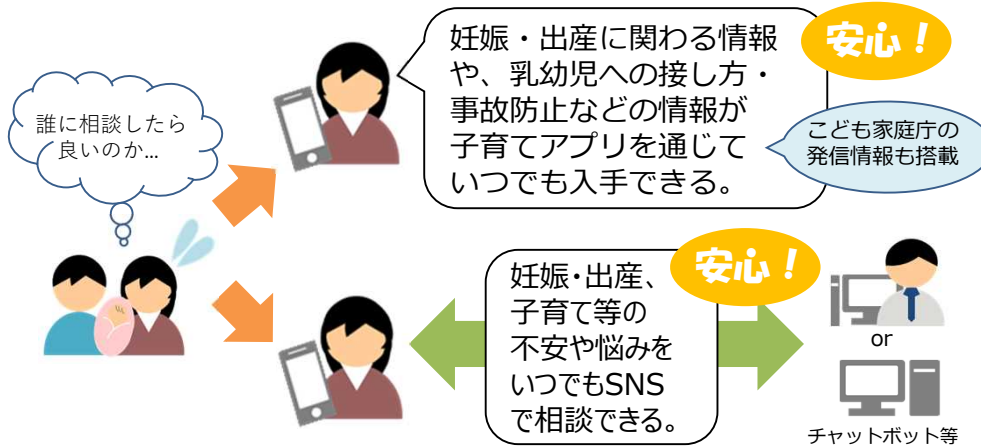
※ 必要な手続きが適時にわかり、スケジュール管理の手間、申請漏れがなくなる。
 ※ 乳幼児を抱えながら市役所に行かなくて申請でき、子育てセミナーの参加も容易に。

2. 保育サービス等を利用する場合も…



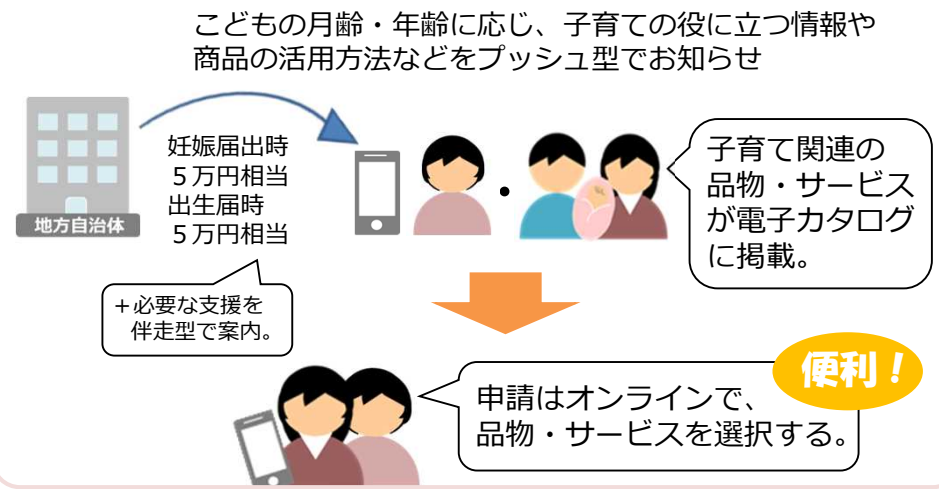
※ 急遽必要となる一時預かりや病児保育等も、アプリで空き情報を確認し、申請も完結。

3. 妊娠・出産の不安、子育てに悩んでも…



※ 子育て関連イベントなどの情報についても発信。
 ※ チャットボット等を活用して、不安や悩みへの正しい情報提供を可能にしつつ、案件によっては、助産師や保健師の直接面談を案内する。

4. 経済的な支援も…



アンケート結果を踏まえた取組の方向性

- D Xの推進に向けて、まずはアンケート結果を踏まえて特に意見の多かった下記について、以下のとおり取り組む
- 妊娠・出産に係る手続き（妊娠届、出生届）は郵送やオンライン申請を推進し市役所等に行かなくても完結できるようにする。
 - 出産前後の健診事務等（妊婦健診、予防接種、乳幼児健診）は、民間アプリ等を活用し紙の書類の削減とプロセスの効率化を図る。

手続き

出生届

- 出生届の届出時の役所訪問等の負担に関する意見が多かったことから、
- **出生届（および同じタイミングで必要な手続き各種）の郵送での受付推進およびオンライン手続きの課題検証を実施**する。
 - また訪問による手続きにおいては、父母子の負担を考慮して**書類の記載の簡素化・1か所の窓口で完結**できるように地方公共団体と連携を図る。

母子健康手帳

- 母子健康手帳交付時に保健師等が対面での面接を行っているが、手続きの効率化を求める声が多かったことから、
- **妊娠届のオンライン申請やオンライン相談**の活用促進等、個人の希望を踏まえた選択肢を示せるよう、地方公共団体と連携を図る。
 - 利用者の利便性を高めるため、母子健康手帳のデジタル化に向け、環境整備を進めていく。

健診事務等

妊婦健診

- 妊婦健診の受診券の使いづらさ（手書き記入、償還払いの手間）に関する意見が多かったことから、
- **償還払いのオンライン申請、民間アプリの活用を推進**するなどデジタル化を進め、妊婦健診を受ける者の利便性の向上を図る。

予防接種

- 書類の記入の面倒さや接種スケジュール管理に関する意見が多かったことから、
- 自治体からの接種勧奨のタイミングで**スマートフォンにプッシュ通知**を行うとともに、**スマートフォンで予診票の事前入力や接種記録の閲覧**ができるよう、予防接種事務のデジタル化を実施。
 - 個々の接種予定や接種間隔を管理する民間アプリの活用を促進するため、デジタル化に際してAPI連携できる環境整備を進めていく。

乳幼児健診

- 集団健診の日時に関する意見や、各書類のデジタル化等を求める意見が多かったことから、
- 地方公共団体と連携して、**受診しやすい健診日時の設定**を促す。
 - **問診票をスマートフォンで事前入力**することができる取組等を実施。

令和6年度に予定している事業：【こども政策DX見本市開催】

事業の目的

- 地方自治体や子育て関連事業者等がこども政策DXや業務のデジタル化・ICT化を効果的に進められるよう、高度な専門性や人的資源を豊富に有する**質の高い事業者を選定できる場**を提供するため、「こども政策DX見本市」を開催する。
- **先進事例等の効率的な横展開を進めるとともに、こども・子育て分野におけるデジタル技術・サービスを提供する事業者と地方自治体等との協働・連携を推進**し、こどもや子育て中の方々の利便性向上と子育て関連事業者・地方自治体等の事務負担軽減を図ることを通じ、「こどもまんなか社会」の実現を目指す。

事業の概要・スキーム

①こども政策DX見本市の開催

- ・こども・子育て分野におけるデジタル技術・サービスを提供する事業者がそれぞれが提供する技術・サービスを出展し、DXの取組を進めようとする地方自治体や子育て関連事業者等との**マッチングのための見本市**を開催する。
- ・見本市では先進事例等の紹介やセミナーも実施し、地方自治体や子育て関連事業者等のDXの取組を支援する。
- ・開催は東京・大阪等の首都圏での開催（2～3日程度）を想定。
- ・遠方からでも参加できるように**オンラインとのハイブリッド開催**や、専用HPでの展示内容閲覧も可能とする。

②こども政策DX事例集の作成

- ・こども政策DX見本市の開催後に、出展事業者の取組内容をまとめた**事例集を作成**し、自治体等の取組に資するよう広く横展開を図る。



※見本市開催イメージ

実施主体等

【実施主体】 国


みなさんに質問したい内容について

自治体のDXの促進について

- 市役所や区役所の手続きは、手書きで行う手続きがまだ多くあります。
デジタル化やオンライン化などのDXを進めるためには、何が重要だと思いますか？

こどもDX見本市について

- これまで、お父さん・お母さん・先生などが、手続き等で大変そうにしている様子を見たことがある人もいます。
どのようなサービスがあったらお父さん・お母さん・先生などが助かると思いますか？
- DX見本市にどのようなセミナーやイベントがあったら、盛り上がると思いますか？



テーマ②こども政策DXについて
質問のじかん

3. テーマ説明③



こどもデータ連携について

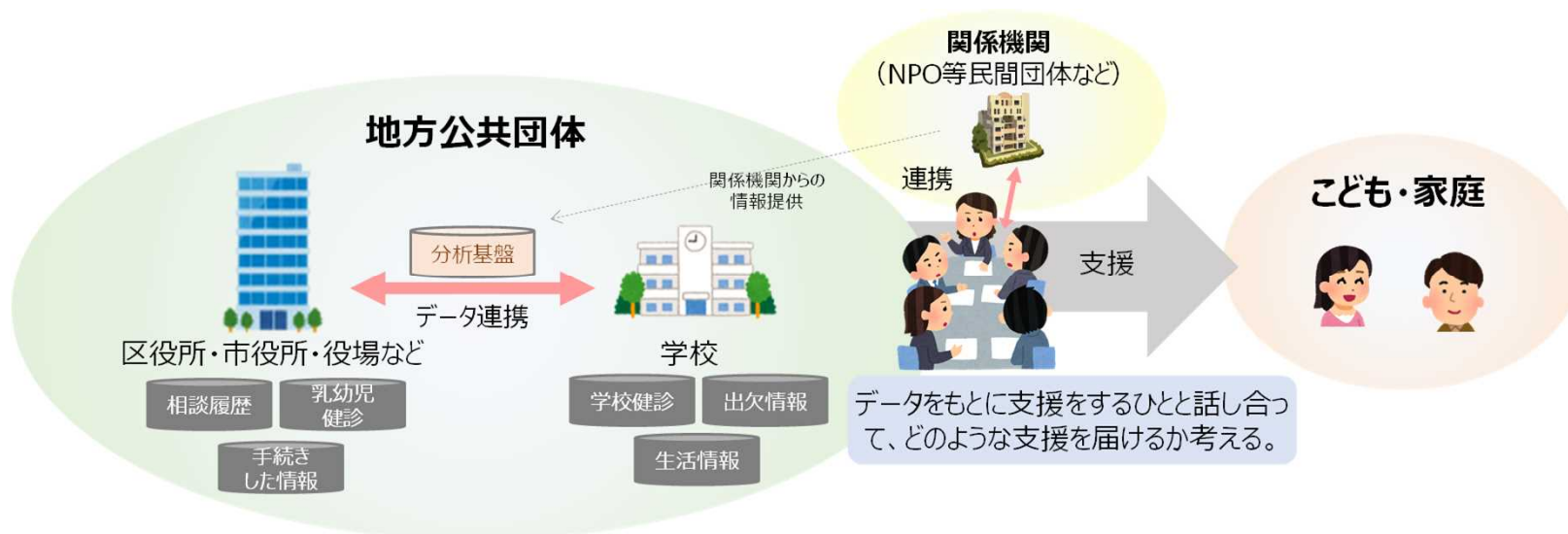
こどもデータ連携（実証事業）の取組

概要

みなさんがお住まいの地方公共団体は、みなさんの学校生活や行政サービスを受けることで得られた様々なデータを持っています。


それらのデータは学校や役所内でバラバラに管理していますが、ルールを守り適切な管理のもとに必要なデータを組み合わせることで、貧困・虐待・いじめなどの困難を抱えているのにSOSを出せない子どもや家庭に必要な支援を届けることができると考えています。

こども家庭庁ではいくつかの自治体と協力して実証事業に取り組んだり、全国でこれらの取組ができるようなガイドラインを作るための予算を計上しています。（3.5億円）



みなさんに質問したい内容について

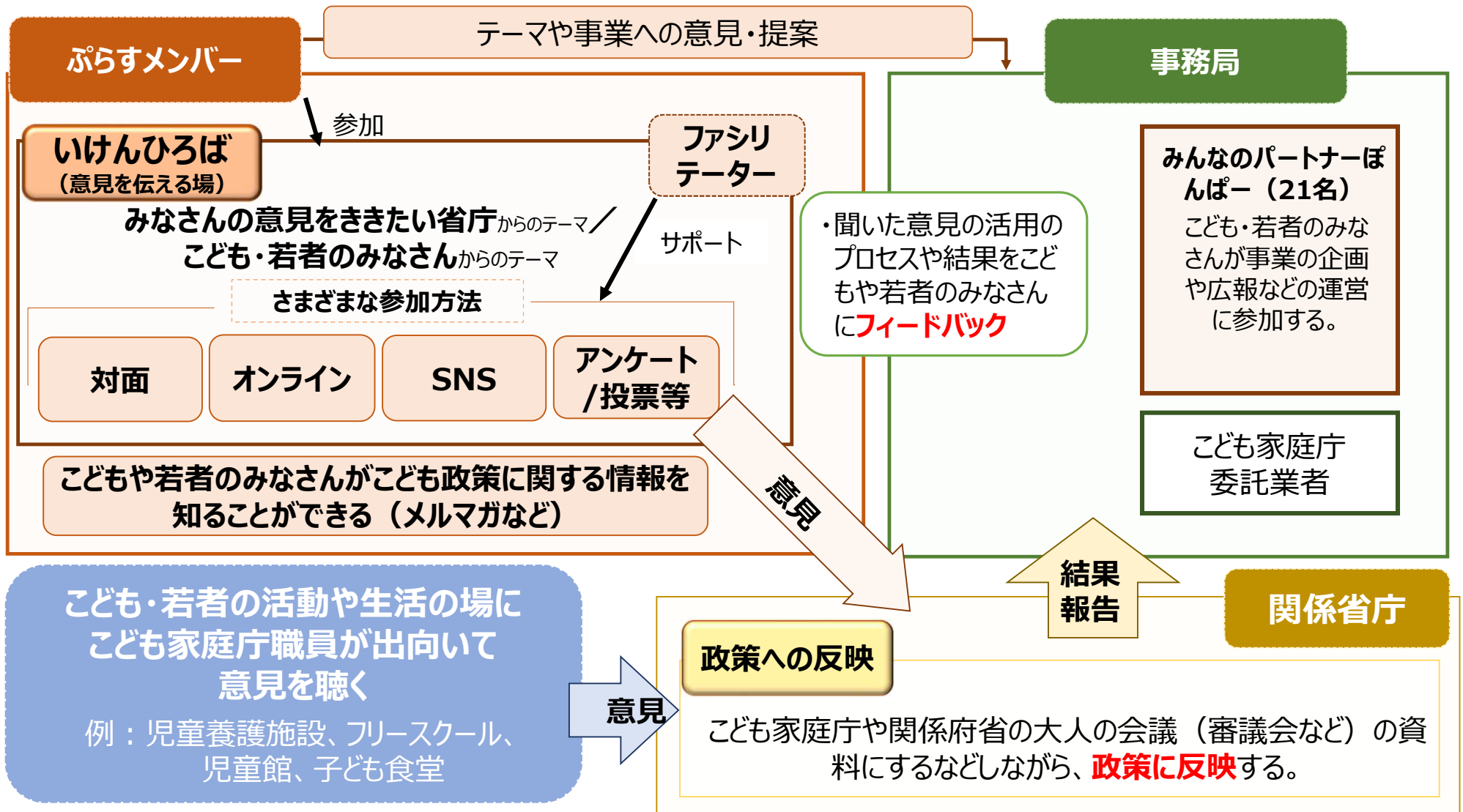
- ・みなさんは生活で困ったことがあったときに周りのおとなに相談したくてもできないと感じたことはありますか？
- ・いじめや不登校、虐待で困ったときに相談できる機関が地域にあることを知っていますか？
※児童相談所、こども家庭総合支援拠点、こども家庭センター など
- ・地域の相談機関などが持っているデータを連携してSOSを出せないこどもや家庭に支援を届ける取組についてどう思いますか？



テーマ③こどもデータ連携について
質問のじかん

4. 「こども若者★いけんぷらす」とは？

みなさんが様々な方法で自分の意見を表明し、社会に参加することができる新しい取組です。



5. 今回のいけんひろばについて

1. テーマ

こども家庭庁予算について

2. テーマの説明

こども家庭庁は8月31日に令和6年度※概算要求を財務省へ出しました。この後年末までの間に、予算の政府原案（予算案）を作るため、概算要求の内容について財務省と話し合っていきます。

その話し合いの中で、施策の当事者であるこども・若者の意見を聞くことが重要であると考えており、概算要求全体像と個別の施策（こども政策DX、こどもデータ連携、こどもの居場所支援、こども食堂支援）について意見を聴きたいです。

※概算要求

各省庁が次年度の予算の見積もりを財務省へ出すこと、またはその内容。この概算要求について、財務省と各省庁との話し合いを経て年末に予算案（次の年度にお金をいくら何に使ってよいか）が固まります。

3. 集合の日にち・時間

9月22日（金）18:00～20:00ごろ（集合は17:50）

4. 集合場所

Webex メインルーム（オンライン）

6. スケジュール

メインルーム	17:50	集合	<ul style="list-style-type: none">みなさん指定された時間に集合（オンライン）してください。
	18:00	開会	<ul style="list-style-type: none">冒頭<small>ぼとう</small>に関係者が挨拶<small>あいさつ</small>を行います。
		今日の流れや ルールの説明	<ul style="list-style-type: none">全体で今日の流れやルールについて確認します。
班別ルーム	18:15	自己紹介 アイスブレイク	<ul style="list-style-type: none">班の中でお互いに自己紹介した後、ちょっとしたゲームやクイズなどをそれぞれの班でやります。
	18:25	議論 <small>きぎゆん</small> & 休憩 <small>きゅうけい</small>	<ul style="list-style-type: none">ファシリテーター（司会の人）がいろんな質問をするので、言える範囲で意見を言ってください。ファシリテーターが、班ごとに休憩の時間を連絡します。
	19:45	班内感想 振り返り	<ul style="list-style-type: none">班ごとに今の気持ちや今日の感想を話しましょう。
		事務連絡 <small>れんらく</small> ・閉会	<ul style="list-style-type: none">今後の予定などの連絡事項<small>じごう</small>をお知らせします。
	20:00	解散	<ul style="list-style-type: none">最後にアンケートをお配りします。アンケートに回答された方から順に解散となります。

7. メンバー一覧①

No.	ニックネーム	班	担当ファシリテーター	担当板書係	備考
1		1			
2		1			
3		1			
4		1			
5		1			
6		2			
7		2			
8		2			
9		2			
10		2			
11		3			
12		3			
13		3			
14		3			
15		3			

7. メンバー一覧②

No.	ニックネーム	班	担当ファシリテーター	担当板書係	備考
1		4			
2		4			
3		4			
4		4			
5		4			
6		5			
7		5			
8		5			
9		5			
10		5			
11		6			
12		6			
13		6			
14		6			
15		6			

8. ルームURL

当日は、まずメインルームに集合します。表示される名前は、ニックネームにしてください。その後、司会が班ごとに分かれるようアナウンスしたときに1～6班の班別ルームに移動をお願いします。

	A・B共通 メインルーム	Aテーマ 1班ルーム	Aテーマ 2班ルーム	Aテーマ 3班ルーム
URL				

	Bテーマ 4班ルーム	Bテーマ 5班ルーム	Bテーマ 6班ルーム
URL			

自動では部屋分けされないため、ご自分で移動をお願いいたします！
当日はチャットで上記の班別ルームのURLも貼り付けます

9. 運営関係者一覧

- 今回のいけんひろばに参加する大人の一覧です。
次のような大人が今回みなさんが意見をいやすい環境づくりをサポートしていきます。

関係者	役割
ファシリテーター	今回の班ごとの意見交換の司会進行や、皆さんが意見をいやすいような場づくりをします。
こども家庭庁①意見係	こども若者★いけんぷらすを担当している部署です。2名程度参加します。
こども家庭庁②テーマ担当	今回のテーマを担当している部署です。2名程度参加します。
PwCコンサルティング合同会社	こども家庭庁と一緒になって「こども若者★いけんぷらす」を運営している会社です。いけんひろば全体の司会や班ごとのいけんひろばのサポートをします。

10. いけんひろばルール①

☆ みんなが安心して参加するために ☆

- ◆年齢に関係なく、だれもが等しく話し合いに参加します。一人ひとりの考えを大切にします。否定したり、さえぎったりしないようにしましょう。
- ◆話したくないこと、個人的なことは、話さなくて大丈夫です。
- ◆一度言ったことをなしにして、他のことを言っても大丈夫です。
- ◆今日聞いたこと、だれが何を話したかは、ほかの人に言いません。
- ◆みんなが話せるように、協力しよう。

人と話すこと・意見を出しあうことを 楽しもう！

こまったことがあったら、
スタッフに教えてください

10. いけんひろばルール②

☆ SNSなどの投稿(とうこう)について ☆

- ◆いけんひろばに参加していることを投稿したり、自分だけが写っている写真の投稿はOKです！
- ◆他の人が写っている写真は、写真に写っている人からいいよと言われた写真だけを使ってください。
- ◆何について話をしたか、だれが何を話したかは、ほかの人(友人・先生・家族など)に言いません。
※いけんひろばに参加してくれた人だけが知っていることもあるので、気を付けてください。

こまったことがあったら、
スタッフに教えてください

10. いけんひろばルール③

☆ オンラインの参加ルールについて ☆

- ◆ メインルーム・班別ルームでの共通ルール
 - ✓ 発言する時以外は、ミュート(マイクオフ)をお願いします。
- ◆ メインルームでの発言について
 - ✓ 発言したいときは、まず挙手ボタンを押してください。
 - ✓ 司会に呼ばれてから、マイクをオンにしてお話しください。
 - ✓ 発言が終わったら、ミュート(マイクオフ)に戻してください。
- ◆ 班別ルームでの発言について
 - ✓ 発言したいときは、ミュート(マイクオフ)を解除して、ニックネームを言ってからお話しください。
 - ✓ 発言が終わったら、ミュート(マイクオフ)に戻してください。

何か気になることがあったら、
スタッフに教えてください

10. いけんひろばルール④

☆ 意見の取り消しなどについて ☆

- ◆ いけんひろばの中で言ったこと(いけん)は**9月26日(火)**までであれば、取り消すことができます。
 - 取り消したいときは、下の連絡先に「〇〇〇といけんひろばの時に言ったけど、取り消したい」といったメールを送ってください。
- ◆ いけんひろばでは**言えなかったけれど、どうしても伝えたいこと(いけん)**があれば、**9月26日(火)**までに下の連絡先にメールを送ってください。
- ◆ もし、いけんひろばの時に、いやだなと感じたことなどがあれば、下にある連絡先にメールを送ってください。
- ◆ いけんひろば当日から1~2週間以内をめどに、出てきたいけんのまとめを送ります。いけんのまとめが届いたら、確認をしてください。

<連絡先>

「こども若者★いけんがらす」担当(たんとう)

こども家庭庁(ちょう) こども意見係

kodomo_iken@cfa.go.jp